

乳幼児の感染症について

園は、乳幼児が長時間にわたり集団で生活する場所です。園内での感染を防止するためにも症状が回復するまで、お休みなどご協力をお願いします(登園のめやす参照)。

1. 登園基準があり、登園に際して医師が記入する「登園許可証明書」の必要な感染症

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	登園のめやす	予防接種
麻疹 (はしか)	8～12日	高熱、咳、鼻汁、目やに・充血 頬の内側に白い斑点 全身に発疹 など (合併症)中耳炎・肺炎・脳炎など	飛沫感染 空気感染 接触感染	発病 1～2日前～ 発疹が出て5日頃 まで	発疹が出て、解熱 後3日を経過する こと	定期接種 1期:1歳～2歳 未満 2期:年長児
風疹 (3日はしか)	16～18日	全身に赤くて小さな発疹、 リンパ節の腫れ、発熱 など (合併症)関節炎など	飛沫感染 接触感染する こともある	発症の数日前～ 発症後 7日頃まで	発疹が消えて全身 状態がよくなること	定期接種 1期:1歳～2歳 未満 2期:年長児
百日咳	7～10日	風邪のような症状、長引く しつこい特有な咳、嘔吐 など (合併症)3か月未満の乳児の場 合、肺炎、中耳炎、脳症など起 こしやすい	飛沫感染 接触感染	初期に強い	特有の咳が消失す るまで、又は5日間 の適正な抗菌物質 製剤による治療が 終了するまで	定期接種 3か月～
流行性 耳下腺炎 (おたふくかぜ)	16～18日	耳の下(耳下腺)の腫れ、痛み、 発熱など (合併症)無菌性髄膜炎、難聴、 脳炎 など	飛沫感染 接触感染	発症の数日前～ 耳下腺が腫れた後 4日頃まで	耳下腺・顎下腺・ 舌下腺の腫れが 発現した後5日を 経過し、かつ全身 状態がよくなるまで	任意接種 1歳～
水痘 (水ぼうそう)	14～16日	発熱、水をもった発疹(水疱)、 だるさ など *水疱はその後乾いて黒いかさ ぶたになる。 (合併症)脳炎、肺炎 など	飛沫感染 空気感染 接触感染	発疹が出る2日前 ～かさぶたになる まで	全ての発疹がかさ ぶたになること	定期接種 1歳～3歳未満
咽頭結膜熱 (プール熱)	2～14日	39～40℃の高熱、のどの痛み、 充血、眼痛、目やに など	飛沫感染 接触感染	急性期に強い	症状が消えて、2日 を経過すること	なし
流行性 角結膜炎	2～14日	目やに、結膜充血、 まぶたの腫れ など	飛沫感染 接触感染	発症後2週間	結膜炎の症状が 消失していること	なし
急性出血性 結膜炎	1～3日	目やに、結膜充血、結膜出血 まぶたの腫れ など	飛沫感染 接触感染	発症後1週間	感染のおそれが なくなること	なし
感染性 胃腸炎 (ノロウイルス、ロ タウイルスなど)	6時間～ 3日位	嘔吐、下痢、腹痛、発熱 など	経口感染 飛沫感染 接触感染 空気感染	症状のある期間は 特に強い	下痢、嘔吐などの 症状がなくなり いつもどおり活動 ができること	任意接種 ロタウイルス 6週～24週未 満又は6週～3 2週未満

*この他に腸管出血性大腸菌感染症、結核、細菌性赤痢などお休みしていただく感染症があります。

※ 定期接種・・・法律に基づく予防接種です(詳細は健康カレンダーなどを参照してください)

※ 任意接種・・・個人が医療機関との契約で行う予防接種です(詳細は医療機関にお問い合わせください)

2. 登園に際して医師の診断を受け、保護者が記入する「登園届」が必要な感染症

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	登園のめやす	予防接種
溶連菌 感染症	2～5日	突然の高熱、のどの痛み だるさ など	飛沫感染 接触感染 経口感染	治療を開始する前 と開始後1日	抗菌薬内服後1日 ～2日経過してい ること	なし
マイコプラ ズマ肺炎	14～21日	しつこい咳、発熱、肺炎 など	飛沫感染	治療を開始する前 と開始後数日	発熱や激しい咳が 治まっていること	なし
ヘルパン ギーナ	3～6日	38～40℃の熱、のどの痛み のどの奥の小さな水ぶくれ 筋肉痛 など	飛沫感染 経口感染 接触感染	発症前日～数日間	発熱や口腔内の 水泡・潰瘍がなく 食事がとれること	なし

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	登園のめやす	予防接種
手足口病	3～6日	口の中、手のひら、足のうらにできる小さな水ぶくれ など	飛沫感染 接触感染 経口感染	急性期に強い	発熱や口腔内の水泡・潰瘍がなく食事がとれること	なし
伝染性紅斑 (りんご病)	4～14日	ほっぺがリンゴのように赤くなる 太ももや腕には赤い斑点、 あみ目模様 など (感染後5～10日に発熱、頭痛など)	飛沫感染	発疹が出る前の 1週間	いつもどおりの活動ができること (発疹のみの場合は登園可能)	なし
突発性発疹	約10日	突然の高熱(熱が3～4日続く) 解熱とともに発疹、下痢 など	経口感染 飛沫感染 など	不明	熱がなく機嫌よくいつもどおりの活動ができること	なし
RSウイルス 感染症	4～6日	発熱、咳、 ゼイゼイと音のでる呼吸 など	飛沫感染 経口感染 接触感染	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失して、いつもどおりの活動ができること	
インフルエンザ	1～4日	突然の高熱、頭痛、のどの痛み だるさ、咳、鼻汁 など まれに脳症を引き起こす	飛沫感染 接触感染 など	発症後3日頃まで	発症後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで	任意接種
帯状疱疹	不定	赤い皮疹、小さな水ぶくれが帯状に、片側に現れる。 痛み、かゆみ、ピリピリ感	接触感染	全ての発疹がかさぶたになるまで	全ての発疹がかさぶたになること	なし

3. その他感染症

(1) プール活動などの際は、医師が記入した「プール活動許可証明書」が必要な感染症

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	備考
伝染性膿痂疹 (とびひ)	2～10日	すり傷や虫刺され、あせも、湿疹などに、菌が入り水ぶくれができる。それを掻き壊した手で別の場所を触るとそこにまた、水ぶくれができる。	接触感染	症状のある期間	顔、手足など露出部にたくさんできている場合は登園を控える。治療をして、包帯で覆ってあれば登園は可能だがプール活動などは不可。

(2) 許可証明書は必要ありませんが、早急に駆除が必要な感染症

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	備考
アタマジラミ	10～30日	頭髮に虫卵・成虫を認める。 かゆみ。	接触感染	頭髮に虫卵・成虫を認める期間	薬剤で駆除する。(卵がふ化するまで2～3日間隔で3～4回駆除する)

(3) その他

病名	潜伏期間	症状	感染経路	感染しやすい時期	備考
伝染性軟属腫 (水いぼ)	14～50日	丸くてつやのある、うつる発疹。 つぶれると白い液がでてくる。 数か月から半年位で自然に治る。	接触感染	いぼのある期間 (いぼ中の白い液が感染源となる)	プール活動の時は、いぼを傷テープ等で覆う。覆いきれない時は、Tシャツやハーフパンツの水着を着用する。いぼが潰れてじゅくじゅくしている時は、プール活動はできない。

4. こんな時にも、ご家庭でお休みください。

症状	家で様子を見たい場合	備考
発熱	・朝から37.5℃を超えた熱とともに元気がなく機嫌が悪く、食欲がない。 ・24時間以内に解熱剤を使用している。 ・24時間以内に38℃以上の熱がでた。	・症状が続く時は受診しましょう。 ・回復には、症状が出ていた期間と同じだけの日数が必要です。
下痢	・24時間以内に2回以上の水のような便が出た。 ・食事や水分を摂ると下痢をする。	
嘔吐	・24時間以内に2回以上吐いた。 ・食欲がなく、水分もほしがらない。 ・機嫌が悪くぐったりしている。	